

2年 道徳の年間指導計画例 (2018年～2019年)

月	教材名〔主題名〕 内容項目(主・関連)	主題のねらい	展開の概要	関連・連携のための指導計画例
4月	1. 学校 大すき 〔学校 大すき、先生 大すき〕 【主】C よりよい学校生活、集団生活の充実 【関連】B 感謝	◎先生を敬愛し、学校で働く人々に親しんで、学級や学校の生活を楽しくしようとする。 【理解、判断力】 学校で働く人々や上級生は、自分たちが楽しく充実した学校生活ができるように、いろいろなことを一生懸命にしてくれていることが分かる。 【心情】 自分たちの学校生活を支えてくれている人々に対して、すばらしいなあ、ありがたいなあという気持ちをもつようになる。 【実践意欲と態度】 学校生活が楽しく充実したものになるように、自分たちにできることは何かを考えて、実行しようという意欲をもつ。	1 自分たちは、学校でどんな人のお世話になっているか話し合う。 2 「学校 大すき」を読み、学校のよさについて考える。 3 自分たちの学校についてまとめ、話し合う。 4 これから自分たちにできることを考え、まとめる。	○道徳の授業 ・「学校 大すき」を読み、学校のよさについて考えさせる。 ○学級活動 ・もっと楽しいクラスや学校にするために、自分たちにできることを話し合わせ、実践させる。実践した結果をまとめさせ、発表の機会などを設ける。 ○日常生活 ・学校でお世話になっている人を探してみるよう促す。 ・学校のよいところについて、家の人に聞いてまとめさせる。
4月	2. 学校たんけん 〔あいての きもちを かんがえよう〕 【主】B 親切、思いやり 【関連】C よりよい学校生活、集団生活の充実	◎幼い人の気持ちや立場を理解しようとする。 【理解、判断力】 幼い人の気持ちや立場を思い、相手が困っていたら助けたいと願う心をもっていることが分かる。 【心情】 幼い人に親切にすることで、自分も人の役に立てる喜びを感じる。 【実践意欲と態度】 幼い人が困っていたら助けたいと願う心を大切に、幼い人に親切にしようとする。	1 入学してきた1年生の気持ちを考える。 2 「学校たんけん」を読み、親切、思いやりについて考える。 3 本時の学習をまとめ、生活に生かしたいことを考えて発表する。	○道徳の授業 ・「学校たんけん」を読み、親切、思いやりについて考えさせる。 ○生活科 ・道徳の授業で学んだことを意識させながら、1年生に対する学校案内を行わせる。または、1年生と交流する機会を設ける。 ○学級活動 ・1年生が困っていることを調べ、自分たちで解決できることはないか考えさせて実行させる。 ・実行した感想を記録させ、帰りの会などで発表させる。
重点主題：まい日を きもちよく				
4月	3. できるね ポンタくん 〔きもちの よい 学校の せい かつ〕 【主】A 節度、節制 【関連】C よりよい学校生活、集団生活の充実	◎健康や安全に気をつけ、物を大切にし、身の回りを整え、やり過ぎたりしないで、規則正しい生活をしようとする。 【理解、判断力】 基本的な生活習慣を身につけることの大切さが分かる。共に、学校でそのような生活をする秘訣は、節度を守り、節制に心がけ、それを続けることだと分かる。 【心情】 学校生活で基本的な生活習慣を身につけて生活している人に対して、すばらしいと思う。 【実践意欲と態度】 学校生活で基本的な生活習慣を身につけて、規則正しい生活をしようと思ひ、実行しようとする。	1 身の回りのことができているかどうか、お互いに聞き合う。 2 「できるね ポンタくん」を読み、学校生活を見直し、気持ちよく過ごすにはどうしたらよいか考える。 3 学校で気持ちよく過ごすために、自分がやっていきたいことをまとめる。	○道徳の授業 ・「できるね ポンタくん」を読み、学校生活のさまざまな場面で、やり過ぎずに気持ちよく生活するためにはどうしたらよいか考えさせる。 ○学級活動 ・学校生活で、度が過ぎた行動があるか振り返り、気持ちよく、安全に過ごすにはどうしたらよいか考えさせる。 ○日常生活 ・学校で気持ちよく過ごすため、どんなことをどのように行うか考えたことを続けるよう促す。 ○家庭 ・家で生活のできるようになったこと、できなくて困っていることを見つめるよう促す。
5月	4. そこだね ポンタくん 〔きもちの よい いえの せい かつ〕 【主】A 節度、節制 【関連】A 希望と勇気、努力と強い意志	◎健康に気をつけ、物を大切にし、身の回りを整え、わがままをしないで、規則正しい生活をしようとする。 【理解、判断力】 基本的な生活習慣を身につけることの大切さが分かる。共に、家庭でそのような生活をするためにどうしたらよいか考え、節度を守り、節制に心がけ、それを続けることが秘訣だと分かる。 【心情】 家庭生活で基本的な生活習慣を身につけて生活している人に対して、すばらしいと思う。 【実践意欲と態度】 家庭生活で基本的な生活習慣を身につけて、規則正しい生活をしようとする。	1 家の生活で、ちゃんとできるようになったことと、うまくできなかったことをお互いに聞き合う。 2 「そこだね ポンタくん」を読み、家庭生活を見直し、気持ちよく過ごすにはどうしたらよいか考える。 3 家で気持ちよく過ごすためにどうしたらよいかまとめる。	○家庭 ・家の生活のできるようになったこと、できなくて困ったことを見つけておくよう伝えておく。 ○道徳の授業 ・「そこだね ポンタくん」を読み、家庭生活のさまざまな場面で困っていることを見直し、気持ちよく生活するためにはどのようにしたらよいか考えさせる。 ○日常生活 ・家で気持ちよく過ごすため、どんなことをどのように行うか考えたことを続けるよう促す。 ・続けてできたか、家の人にメッセージをもらうよう伝える。
5月	5. げんかんそうじ 〔かぞくの ために できる こと〕 【主】C 家族愛、家庭生活の充実 【関連】C 勤労、公共の精神	◎自分の生活は、家族によって支えられていることが分かり、自分も家族のためにできることを進んで行おうとする。 【理解、判断力】 自分の生活は家族に支えられていることを知り、自分にも、家族の役に立ちたいと願う心があることに気づく。 【心情】 家族どうしが互いに支え合うことで、明るくなっていく家族の姿に心が動く。 【実践意欲と態度】 家族のために、自分ができることを進んでしようとする。	1 自分の生活を振り返り、家族のよいところを話し合う。 2 「げんかんそうじ」を読み、支え合う家族のよさについて考える。 3 家の仕事で、自分ができそうなことを考えてまとめる。	○道徳の授業 ・「げんかんそうじ」を読み、支え合う家族のよさについて考えさせる。 ○家庭 ・保護者に学級通信などで授業の意図を伝え、お手伝いの機会を設けてもらう。 ・お手伝いをしたときの自分の感想や家族の感想を記録させる。 ○学級活動 ・お手伝いをした自分の感想や家族の感想を、帰りの会などで発表させる。 ・授業で学んだことと、実際にお手伝いをして思ったことで重なる部分はないか考えさせ、理解を深めさせる。
5月	6. くるぶたの しっぱい 〔きまりを まもる 力〕 【主】C 規則の尊重 【関連】A 善悪の判断、自律、自由と責任	◎みんなが使う物や使う場所を大切にし、きまりを守って気持ちのよい生活をしていこうとする。 【理解、判断力】 私たちの周りにはたくさんのきまりがあり、それを守らないとみんなが困るだけでなく、自分も困ることになることが分かる。 【心情】 自分勝手なことをする人に対して、よくないなあと不快な気持ちを感じる。 【実践意欲と態度】 みんなが使う物や場所を大切にし、きまりを守って気持ちのよい生活をしようとする。	1 身の回りがある、知っているきまりを発表し合い、きまりがないとどうなるかを予想する。 2 「くるぶたの しっぱい」を読み、きまりを守るということについて考える。 3 自分たちはきまりを守れているか振り返る。	○道徳の授業 ・「くるぶたの しっぱい」を読み、きまりを守るということについて考えさせる。 ○帰りの会 ・きまりが守られていなかったことを見つけたら、カードに書いて報告し合う時間を設ける。また、きまりが守られていてよかったことを報告させてもよい。 ○学級活動 ・報告があったことについて、どうしたらみんなが気持ちよく過ごせるかを話し合わせる。
5月	7. おもいきって 行ってごらん 〔あいさつパワー〕 【主】B 礼儀 【関連】A 希望と勇気、努力と強い意志	◎気持ちのよいあいさつができるように心がけて、明るく接する。 【理解、判断力】 あいさつは、時・場・相手によって異なり、その使い分けがあることが分かる。 【心情】 元気にあいさつをすると、自分も相手も元気がわき、お互いに明るく、いい気持ちになる。 【実践意欲と態度】 自分も元気にあいさつをして、明るく生活しようとする。	1 どうしたらあいさつが上手にできるのか考える。 2 「おもいきって 行ってごらん」を読み、気持ちのよいあいさつについて話し合う。 3 あいさつが上手にできるために大切なことをまとめる。	○道徳の授業 ・「おもいきって 行ってごらん」を読み、気持ちのよいあいさつについて話し合わせる。 ○国語科・生活科 ・「あいさつカルタ」をつくらせ、そのカルタで遊ばせる。 ○朝の会・帰りの会 ・いろいろなあいさつがあることに気づかせ、「あいさつパワー」を使って元気なあいさつができるように、朝の会や帰りの会で継続的に実践させる。 ・「あいさつが きれいな 王さま」を読み、実践意欲につなげる。 ○家庭 ・あいさつを習慣化するために、保護者会や学年だより、学級通信などで保護者に協力を呼びかける。

月	教材名〔主題名〕 内容項目(主・関連)	主題のねらい	展開の概要	関連・連携のための指導計画例
6月	8. やさい村の子どもたち 〔すききらいにとらわれないで〕 【主】C 公正、公平、社会正義 【関連】B 友情、信頼	◎自他の違いや自分の好き嫌いとらわれないで接しようとする。 【理解、判断力】 自他の違いや自分の好き嫌いとらわれないで、人と接することのよさが分かる。 【心情】 差別や偏見を避け、公正・公平に人と接することのよさを感じる。 【実践意欲と態度】 自他の違いや自分の好き嫌いとらわれないで、だれとでも分け隔てなく接しようとする。	1 だれとでも仲よくするために大切なことを話し合う。 2 「やさい村の子どもたち」を読み、好き嫌いとらわれないで接するよさを考える。 3 だれとでも仲よくするために大切なことをまとめる。	○国語科 ・金子みすゞの詩「わたしと小鳥と鈴と」などを読み聞かせて、互いの違いやそれぞれが持つよさについて関心をもたせる。 ○道徳の授業 ・「やさい村の子どもたち」を読み、公正・公平についての理解を深め、自他の違いや好き嫌いとらわれないで接するよさを考えさせる。 ○学級活動 ・だれとでも仲よくできるように作戦を考えて、標語をつくり掲示する活動を行わせる。 ○日常生活 ・公正・公平の視点をもって、だれとでも分け隔てなく学んだり遊んだりするよう促す。
6月	9. おとうとのたんじょう 〔いのちのたんじょう〕 【主】D 生命の尊さ 【関連】C 家族愛、家庭生活の充実	◎自分の命は家族の願いを受けて生まれてきたことや、自分には生きる力があることが分かり、自分の命を大切にしようとする。 【理解、判断力】 名前には家族の願いや思いが込められていることや、自分には「生きる力」があることが分かる。 【心情】 自分の命が大切にされ、自分が「生きる力」をもって生きていることをうれしく思う。 【実践意欲と態度】 自分の命を大切に、元気に生活していこうという意欲をもつ。	1 命が大切なわけについて話し合う。 2 「おとうとのたんじょう」を読み、「生きる力」と命の大切さについて考える。 3 命が大切なわけについて分かったことをまとめる。	○道徳の授業 ・「おとうとのたんじょう」を読み、命のもつ「生きる力」と命の大切さについて考えさせる。 ○家庭 ・自分の名前の由来を家族に聞いたり、自分の成長を家族に聞いたりする活動をさせる。学年だよりや参観日などの場を活用して保護者にも協力を呼びかけながら指導を進める。 ○生活科 ・自分の成長を調べてまとめさせる活動を行う。
6月	10. わたしたちもしごとをしたい 〔みんなのためにはたらく〕 【主】C 勤労、公共の精神 【関連】B 親切、思いやり	◎働けば、周りの人が喜んでくれたり、自分もいい気持ちになつたりすることが分かり、家族やクラスのために働こうとする。 【理解、判断力】 人のために働けば、周りの人が喜んでくれるだけではなく、自分もうれしくなることが分かる。 【心情】 人のために働くことや、人のために働いている人のすばらしさに心が動く。 【実践意欲と態度】 働くことのよさを知り、人のためになる仕事を家庭やクラスでしたいと思う。	1 どんな気持ちで仕事を行っているか考える。 2 「わたしたちもしごとをしたい」を読み、働くことのよさについて話し合う。 3 みんなのために役立つ仕事について考える。	○道徳の授業 ・「わたしたちもしごとをしたい」を読み、働くことのよさについて考えさせる。 ○日常生活 ・考えた、みんなのために役立つ仕事を実行するよう促す。 ・仕事を行った体験や感想を、ノートやワークシートに記録させる。 ○朝の会 ・朝のスピーチなどで、記録したことを発表させる。
6月	11. なかよしでいたい 〔ともだちを しんじる〕 【主】B 友情、信頼 【関連】A 正直、誠実	◎けんかをしたときに過ちを認めて仲直りしたいと願う心や、友達と仲よしでいたいと願う心があることが分かり、さらに友達関係を深めていこうとする。 【理解、判断力】 自分にも、過ちを改めたいと願う心や、友達のよさが分かることさらに仲よくなりたいたいと願う心があることが分かる。 【心情】 友達と仲よしでいたいと願う心を大切に行動している人を見て、いいなあと心が動く。 【実践意欲と態度】 友達と仲よしでいたいと願う心を大切に、さらに友達関係を深めていこうとする。	1 友達とけんかしたときのことを思い出す。 2 「なかよしでいたい」を読み、友情、信頼について考える。 3 授業で学んだことをどのように生かしていくか考え、発表する。	○道徳の授業 ・「なかよしでいたい」を読み、友情、信頼について考えさせる。 ○帰りの会 ・友達や自分が過ちを素直に認めて改めることができたエピソードを、帰りの会などで紹介させる。 ・友達がいよかったことや、友達の気持ちや立場を考えて行動できたこと、友達からしてもらったことなどを帰りの会などで紹介させる。 ○日常生活 ・自分に過ちがあれば素直に認め、改めようとする態度で生活するよう促す。 ・進んで友達のよさを見つけたり、友達の気持ちや立場を考えて行動しようという意識をもたせる。
7月	12. 三べん かんがえて 〔お金やもののつかいかた〕 【主】A 節度、節制 【関連】C 家族愛、家庭生活の充実	◎わがままをしないで、物や金銭を大切に生活しようとする。 【理解、判断力】 物や金銭を大切にするには、わがままをせずに我慢する心が大切であることが分かる。 【心情】 物や金銭を大切にしている人やその行動をみて、いいなあと心を動かす。 【実践意欲と態度】 無駄づかいをせずに、物や金銭を大切に生活しようとする。	1 無駄づかいについて考える。 2 「三べん かんがえて」を読み、物や金銭を大切にすることについて考える。 3 授業で学んだことをまとめる。	○道徳の授業 ・「三べん かんがえて」を読み、物や金銭を大切にすることについて考えさせる。 ○家庭 ・欲しいものリストをつくって、家の人と相談させる。 ・まとめたものを提出させる。 ○朝の会・帰りの会 ・欲しいものリストをまとめた結果をみんなに報告させる。
7月	13. オリンピックとパラリンピックのはた 〔スポーツでなかよし〕 【主】C 国際理解、国際親善 【関連】D 生命の尊さ	◎他国の人々や他国の文化と、日本人や日本の文化との違いが分かり、他国の人々や他国の文化に親しもうとする。 【理解、判断力】 他国の人々や文化は、日本人や日本の文化と違うところがあることが分かる。 【心情】 自分と他国の人々は違いはあっても同じ人間であり、互いのよさを大切にしたいという心が自分にもあることに気づき、仲よくしたいと思う。 【実践意欲と態度】 他国の人々や文化に、親しもうとする。	1 他国について考える。 2 「オリンピックとパラリンピックのはた」を読み、国際理解、国際親善について考える。 3 他国について知りたいことを話し合う。	○道徳の授業 ・「オリンピックとパラリンピックのはた」を読み、国際理解、国際親善について考えさせる。 ○読書活動・日常生活 ・他国について、本で調べたり人に聞いたりする活動を促し、分かったことをノートなどに記録させる。 ○学級活動 ・朝のスピーチなどで、記録したことを発表させる。
9月	14. ピーマンマンとよふかし 大まおう 〔はやね はやおきて けんこうに〕 【主】A 節度、節制 【関連】A 希望と勇気、努力と強い意志	◎自分の健康や安全に気をつけ、わがままをしないで、規則正しい生活をしようとする。 【理解、判断力】 健康で安全な生活をするためには、わがままをしないで規則正しい生活をすることが大切なことが分かる。 【心情】 規則正しい生活をして、健康に暮らすことのよさを感じる。 【実践意欲と態度】 自分の生活を見直し、わがままを我慢して、健康で規則正しい生活をしようとする。	1 教材を読む観点をもつ。 2 「ピーマンマンとよふかし大まおう」を読み、規則正しい生活の大切さについて考える。 3 よふかし大まおうに負けないために作戦を考える。	○学級活動・朝の会・帰りの会・家庭 ・就寝時間や起床時間についてアンケートなどを行い、自分の生活習慣に関心をもたせておく。 ○道徳の授業 ・「ピーマンマンとよふかし大まおう」を読み、わがままをしないで規則正しい生活をすることの大切さについて考えさせる。 ○日常生活 ・自分で決めたり家の人と相談したりして決めた作戦を継続して行うよう促す。 ○朝の会・帰りの会 ・自分が頑張って実践したことを発表させる。
9月	15. わたしのおじいさん、おばあさん 〔おじいさん、おばあさんの力〕 【主】C 家族愛、家庭生活の充実 【関連】B 感謝	◎祖父母の存在への関心を高め、敬愛し、感謝の気持ちをもつ。 【理解、判断力】 祖父母は、たくさんのことを知っていたり、自分にできないことができたりするなど、人間として立派であることが分かる。 【心情】 祖父母は、知恵や慈しみの心をもって自分のことを考えてくれていることが分かり、感謝の心をもつ。 【実践意欲と態度】 祖父母への思いを伝える自分なりの方法を考え、実践する。	1 自分の祖父母のことを思い浮かべる。 2 「わたしの おじいさん、おばあさん」を読み、祖父母がどんな気持ちで自分たちを支えてくれているのか考える。 3 これから、自分の祖父母に対してしていきたいことをまとめる。	○生活科・家庭 ・お年寄りや触れ合う授業を計画し、自分の祖父母や地域のお年寄りとの交流の場を設ける。そのときの様子を家庭で話す宿題を出すなどして、保護者に話す機会をもたせる。 ・お礼の手紙を書く活動などを取り入れる。 ○道徳の授業 ・「わたしの おじいさん、おばあさん」を読み、祖父母がどんな気持ちで自分たちを支えてくれているのかについて考えさせる。 ○家庭 ・本時の授業の内容や意図を保護者会や学級通信などで伝え、授業をきっかけとして祖父母との交流の機会を設けてほしいことを伝える。そのうえで、祖父母に対してしていきたいと考えたことを実行させる。 ○学級活動・国語科 ・敬老の日などに合わせ、祖父母への感謝の気持ちを手紙に書く活動を取り入れる。

月	教材名〔主題名〕 内容項目(主・関連)	主題のねらい	展開の概要	関連・連携のための指導計画例
9月	16. ぐみの木と 小鳥 【おもいやりの ころり】 【主】B 親切、思いやり 【関連】B 友情、信頼	◎身近にいる人の身の上や心情に思いを寄せ、温かい心で接するよさを大切に、親切にしていこうとする。 【理解、判断力】 相手のことを心配し、その人の気持ちが分かり、自分のできることをすることが思いやりであることが分かる。 【心情】 相手の気持ちが分かり、自分のできることをしている人を見て、すばらしいなあと感じる。 【実践意欲と態度】 自分も温かい思いやりの心をもって生活していこうとする。	1 教材を読む観点をもつ。 2 「ぐみの木と 小鳥」を読み、思いやりの心と行為について考える。 3 授業で学んだことをまとめる。	○道徳の授業 ・「ぐみの木と 小鳥」を読み、思いやりの心と行為について考えさせる。 ○帰りの会・学級活動 ・思いやりのある行動をしていた人を、帰りの会などで発表させる。 ・思いやりの心をもった人が描かれている本や、その本を読んだ感想を紹介させる。 ○家庭 ・親切にしたり、親切にしてもらったりしたときに、家の人に報告させる。
9月	17. ぼくの まちも、ひかっている！ 【じぶんの まちの かがやき】 【主】C 伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度 【関連】B 友情、信頼	◎郷土の文化や生活に親しみ、愛着を感じる。 【理解、判断力】 それぞれのまちには大切に受け継がれているものがあることが分かる。 【心情】 自分のまちのよさが分かると、それが好きになったり、大切にしようと思ったりすることを実感する。 【実践意欲と態度】 自分のまちで大切に受け継がれているものを知り、大切にしたいと思う。	1 自分のまちにあったらいいと思うものは何か話し合う。 2 「ぼくの まちも、ひかっている！」を読み、まちのよさと人々の思いについて考える。 3 自分のまちのよさを考える。	○生活科 ・町探検の結果を大きな地図などにまとめさせる。 ○道徳の授業 ・「ぼくの まちも、ひかっている！」を読み、まちのよさと、そのまちを大切にしてきた人々の思いについて考えさせる。 ○家庭 ・学年だよりなどを活用して家庭との連携を図り、家の人に聞くなどして、自分のまちのよさを見つけたり調べたりさせる。 ○学級活動 ・見つけたり調べたりしたまちのよさについて伝え合い、交流させる。
重点主題：よい こと、わるい こと				
10月	18. くつつくし 【いけない ことを、見つけよう】 【主】A 善悪の判断、自律、自由と責任 【関連】A 正直、誠実	◎よいことと悪いことの区別をし、してはいけないことは絶対にしないようにし、善悪の判断をして生活する。 【理解、判断力】 してはいけないことを絶対にしない理由は、相手や周りのたくさんの人を困らせたり、傷つけたり、嫌な思いをさせたりするだけでなく、自分自身も困るからだということに気づく。 【心情】 してはいけないことをすると、相手や周りの人以上に自分がいちばん嫌で恥ずかしいと感じる。 【実践意欲と態度】 してはいけないことにはどのようなことがあるか、生活の中から見つけ、善悪の判断をして生活をしようとする。	1 してはいけないことやその理由について考える。 2 「くつつくし」を読み、してはいけないこととそのわけを考える。 3 してはいけないこととその理由についてまとめる。	○朝の会・帰りの会 ・自分の学校のきまりや約束などの資料を読み上げ、よいことと悪いことをしっかりと考えさせておく。 ○道徳の授業 ・「くつつくし」を読み、してはいけないこととそのわけを考えさせる。 ○日常生活 ・学校や家の生活の中で、してはいけないことを見つけるよう促す。 ○家庭 ・してはいけないことについて家の人と話し合わせる。 ○学級活動 ・見つけたことや話し合ったことを報告させる。
10月	19. レッドカード 【いけない ことは ぜったいにしない】 【主】A 善悪の判断、自律、自由と責任 【関連】A 節度、節制	◎自分自身でよい悪いの判断をして、してはいけないことは絶対にしないようにする。 【理解、判断力】 してはいけないことをすると自分も嫌な思いをすることが分かり、してはいけないことをしないようにする心は、自分の中にあることに気づく。 【心情】 してはいけないことをすると、自分がいちばん恥ずかしいと感じる。 【実践意欲と態度】 自分の絶対にしないことを決めて、それを実行しようとする意志をもつ。	1 してはいけないことにはどのようなことがあるか、発表し合う。 2 「レッドカード」を読み、人として絶対にしてはいけないことについて考える。 3 自分の「わたしはできる」「わたしはまもる」カードを作成し、発表する。	○朝の会・帰りの会 ・自分の学校のきまりや約束などについて確認させる。 ○道徳の授業 ・「レッドカード」を読み、人として、してはいけないことについて考えさせる。 ○家庭 ・作成した「わたしはまもる」「わたしはできる」カードをもとに、一日の終わりに、決めたことが守れたかどうかを家の人に知らせる。
10月	20. モムンと ヘーテ 【ともだちを おもう ころり】 【主】B 友情、信頼 【関連】B 親切、思いやり	◎意見や考えの食い違いや感情のすれ違いがあっても、友達を助けようとする気持ちがあることが分かり、互いに支え合うことで友達関係をさらに深めていこうとする。 【理解、判断力】 友達どうしで対立したり、けんかしたりすることがあっても、謝ったり許したりすることが大切であることが分かる。 【心情】 友達どうしで謝ったり助け合ったりしている人の姿に触れて、いいなあと思う心をもつ。 【実践意欲と態度】 自分にも、友達を助けたい、仲よくしたいという気持ちがあり、それを大切に友達と仲よくしようとする。	1 仲よしの友達とはどんな友達なのか考える。 2 「モムンと ヘーテ」を読み、友達を思う心について考える。 3 授業で学んだことをまとめる。	○道徳の授業 ・「モムンと ヘーテ」を読み、友達を思う心について考えさせる。 ○他教科 ・グループ活動を組み入れ、話し合って活動する機会をつくり、積極的にグループの人と関わりをもたせる。低学年なので、グループの人数は多くないほうが効果的である。 ○学級活動 ・「謝る」「許す」というキーワードを観点に、友達思いの人を見つける活動を行わせる。
10月	21. のごぎり山の 大ぶつ 【ひとりひとりを たいせつに】 【主】C 公正、公平、社会正義 【関連】B 友情、信頼	◎自分の好き嫌いとらわれずに、人に接しようとする。 【理解、判断力】 だれに対しても、公正・公平に接することの大切さが分かる。 【心情】 一人ひとりを大切にすることをいいなあと思う。 【実践意欲と態度】 一人ひとりを大切に、生活していきたいと思う。	1 仲よくするということについて話し合う。 2 「のごぎり山の 大ぶつ」を読み、だれに対しても公正・公平に接することの大切さについて考える。 3 授業で学んだことをまとめる。	○道徳の授業 ・「のごぎり山の 大ぶつ」を読み、だれに対しても公正・公平に接し、一人ひとりを大切にすることのよさについて考えさせる。 ○学級活動 ・一人ひとりを大切にすることが大事なときや、「みんな仲よく」できて楽しかった経験について考えたことを発表させる。
11月	22. お月さまが みて いる 【あかるい ころり】 【主】A 正直、誠実 【関連】A 善悪の判断、自律、自由と責任	◎人には正直に生きようとする心があることが分かり、その心を自覚して明るい心で生活しようとする。 【理解、判断力】 人間は、うそをついたりごまかしたりする行為を恥と思う良心をもっていることが分かる。 【心情】 人の言葉に触発され良心に目覚め、正直に生きようとする姿に感動する。 【実践意欲と態度】 自分の中にも良心があることが分かり、その心を大切に、して明るくのびのびと生活していこうとする。	1 正直について考える。 2 「お月さまが みて いる」を読み、正直であることについて考える。 3 授業で学んだことをまとめ、教師の説話を聞く。	○道徳の授業 ・「お月さまが みて いる」を読み、正直であることについて考えさせる。 ○学級活動 ・明るい心で生活するために気をつけたいことを考えさせる。 ○朝の会・帰りの会 ・正直にできたことや正直な人を見つけて発表させる。 ○読書活動 ・明るい心で過ごした人の話を探して、本を紹介し合ったり読んだ感想を伝え合ったりする活動を行う。
11月	23. ジョゼクんと おりがみ 【がいに したしむ】 【主】C 国際理解、国際親善 【関連】B 友情、信頼	◎他国の人々や文化に親しもうとする。 【理解、判断力】 他国の人々も日本人や日本の文化に親しみをもっていることを知る。 【心情】 日本文化と交流を深めている他国の人々に共感をもつ。 【実践意欲と態度】 他国の人々や文化に興味をもち、他国の人々や文化にも親しもうとする。	1 興味のある他国について発表する。 2 「ジョゼクんと おりがみ」を読み、他国の人々や文化について考える。 3 他国の人と仲よくなるために大事なことをまとめる。	○日常生活 ・スポーツなどで活躍している外国人選手を話題に取り上げ、他国に関心をもたせる。 ・折り紙遊びをして、折り紙に関心をもたせる。 ○道徳の授業 ・「ジョゼクんと おりがみ」を読み、他国の人々や文化と日本人や日本の文化の違いについて考えさせる。 ○日常生活 ・他国の暮らしや文化について本やインターネットで調べたり、詳しい人に聞いたりする活動を促す。 ○特別活動・総合的な学習の時間 ・他国から来た人と話したりいっしょに遊んだりする機会を設ける。

月	教材名〔主題名〕 内容項目(主・関連)	主題のねらい	展開の概要	関連・連携のための指導計画例
11月	24. はたけの先生 〔おせわに なって いる 人〕 【主】B 感謝 【関連】B 礼儀	◎日ごろからお世話になっている人々の知恵や技術のすばらしさを知り、日ごろのお世話に感謝する。 【理解、判断力】 自分たちのお世話をしてくれる人は、すばらしい知恵や技術をもっていることを知る。 【心情】 年上の人の知恵や技術に触れ、尊敬の気持ちを持ち、お世話になっていることをありがたいと感じる。 【実践意欲と態度】 自分たちがお世話になっている人々に、尊敬と感謝の気持ちをもって接するようになる。	1 日ごろお世話になっている人について思い起こす。 2 「はたけの先生」を読み、感謝する心について話し合う。 3 自分がお世話になっている人についてまとめる。	○日常生活 ・日ごろお世話になっている人に意識や関心を向けられるように、さまざまな場面で年上の人々との縦の関係について取り上げ、意識させる。 ○道徳の授業 ・「はたけの先生」を読み、感謝する心について考えさせる。 ○学級活動 ・お世話になっている人に向けて「ありがとうカード」を作成させ、感謝の気持ちを伝えさせる。 ・感謝の集いなどを計画し、実行する。 ○生活科 ・生活科での昔遊びの学習で、地域のお年寄りや自分の祖父母などに教えてもらおう計画を立て、触れ合いを通して尊敬や感謝の念をもてるようにする。
11月	25. うつくしいもの、うつくしいところ 〔すがすがしい ところ〕 【主】D 感動、畏敬の念 【関連】A 個性の伸長	◎美しいものに触れて感動し、すがすがしい心をもととする。 【理解、判断力】 美しいものに感動し、自分の心の中に美しいものを美しいとすることが分かる。 【心情】 自然の美しさ、絵画や写真の美しさなどに触れて、素直に感動することができる。 【実践意欲と態度】 すがすがしい心をもって生活していこうとする。	1 どのようなものを美しいと思ったか、想起する。 2 「うつくしいもの、うつくしいところ」を読み、美しいものや、美しい心について考える。 3 教師の説話を聞く。	○日常生活 ・目に見える美しいものや、目に見えないが美しいものなどに触れる機会を多く設ける。 ○読書活動 ・美しい心などを扱った絵本などの読み聞かせをする。 ○道徳の授業 ・「うつくしいもの、うつくしいところ」を読み、美しいものや、美しい心について考えさせる。 ○日常生活 ・美しい心が描かれた話や、目に見えない美しさを探そう促す。 ○学級活動 ・見つけた美しい話や、美しいものなどを互いに紹介させる。
12月	26. おかあさんとの やくそく 〔よいと おもう ことを、すすんで おこなう〕 【主】A 善悪の判断、自律、自由と責任 【関連】B 友情、信頼	◎人間にはよいことを実現したいと願う心や、よいことをすると気持ちがよいと感じる心があることが分かり、よいと思うことを進んで行おうとする。 【理解、判断力】 人には、よいことと悪いことを区別してよいことを実現したいと願う心があることが分かる。 【心情】 よいと思うことを進んで行おうとする姿に心が動く。 【実践意欲と態度】 よいことと悪いことを区別し、よいと思うことを進んで行おうとする。	1 メールがきっかけでけんかになった事例を知り、その理由を考える。 2 「おかあさんとのやくそく」を読み、よいことを行うことについて考える。 3 これからの生活で大切にしたいことを考えて発表する。	○道徳の授業 ・「おかあさんとのやくそく」を読み、よいことを行うということについて考えさせる。 ○家庭 ・よい行いができているか、家の人に聞くなどして、自分の生活を振り返らせる。 ○日常生活 ・よいと思うことをするとどんな気持ちになるか、実際にやってみよう促す。 ○学級活動 ・間違いを改めることができた人や、よいことをしている人を探して、帰りの会などで発表させる。
12月	27. かいらんばん 〔ちいさは なかよし〕 【主】C 伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度 【関連】B 親切、思いやり	◎地域の人々が支え合って生活を豊かにしていることについて理解を深め、自分も地域の中で支えられて生きていくことに喜びを感じ、地域に親しみをもととする。 【理解、判断力】 地域の人々が支え合って生活しているよさが分かる。 【心情】 自分も地域の中で支え合ったり、心を通わせ合ったりして生活していることをうれしく思う。 【実践意欲と態度】 地域のよさが分かり、地域の行事などに進んで参加するなど、地域に親しみをもって生活していこうとする。	1 近所の人について話し合う。 2 「かいらんばん」を読み、地域の人と共に生きるよさについて考える。 3 自分の身の回りの地域での支え合いを考える。 4 近所の人とつながるよさをまとめる。	○道徳の授業 ・「かいらんばん」を読み、地域の人たちとつながって生きるよさについて考えさせる。 ○家庭・地域 ・地域の回覧板やつながりについて家の人に聞く活動や、地域の活動への参加を促す。 ○学級活動 ・地域の活動に参加した様子や感想を報告させる。
1月	28. 小さなできごと 〔れいぎ 正しく〕 【主】B 礼儀 【関連】A 正直、誠実	◎気持ちのよいあいさつ、言葉づかい、動作などを心がけて、人と明るく接する。 【理解、判断力】 あいさつや言葉づかいは、時・場・相手によって使い分けが必要なが分かる。 【心情】 礼儀正しくあいさつすると、その気持ちが相手にも伝わり、自分も相手も気持ちよさを感じる。 【実践意欲と態度】 自分から進んで、元気にあいさつしようとする。	1 礼儀正しくすることの大切さについて考える。 2 「小さなできごと」を読み、礼儀正しくすることのよさや、それを支える心について考える。 3 礼儀正しくすることのよさについてまとめる。	○学級活動 ・あいさつ運動への参加や啓発に取り組む。 ○道徳の授業 ・「小さなできごと」を読み、礼儀正しくすることのよさや、それを支える心について考えさせる。 ○日常生活 ・心のこもった言葉づかいや行為はどんなものか考えさせて、実際に練習させる。 ・あいさつ週間などで、礼儀を意識して取り組ませる。
1月	29. きれいに なった ずこうしつ 〔はたらく よろこび〕 【主】C 勤労、公共の精神 【関連】C よりよい学校生活、集団生活の充実	◎働くことによってみんなの役に立ち、自分もうれしくなったり、成長したりすることが分かり、みんなのために働くこととする。 【理解、判断力】 人のために働くと、周りの人が喜んでくれるだけでなく、自分もうれしくなることが分かる。 【心情】 自分もうれしいという心から働いている人を見て、立派だなあと心が動く。 【実践意欲と態度】 自分にもみんなのために働くとうれしく感じる心があることに気づき、みんなのために働いていこうとする。	1 教材を読む観点をもつ。 2 「きれいに なった ずこうしつ」を読み、働くことのよさについて考える。 3 自分たちは、どんな仕事をどんな気持ちでしようと思うかについてまとめる。	○学級活動 ・みんなで使う場所やものの使い方について話し合わせる。 ○道徳の授業 ・「きれいに なった ずこうしつ」を読み、働くことのよさについて考えさせる。 ○学級活動・帰りの会 ・自分が決めた仕事を行い、その感想をカードにまとめさせる。 ・カードを掲示したり、感想を発表させたりする。
2月	30. おりがみ名人 〔がんばる 力〕 【主】A 希望と勇氣、努力と強い意志 【関連】A 個性の伸長	◎自分のやるべきことをしっかりと行うことの大切さが分かり、それを自分の生活に生かしていこうとする。 【理解、判断力】 よりよく成長したいと願う心をもって、目標に向かって問いをもち、調べ、繰り返して成し遂げようと努力することの大切さが分かる。 【心情】 自分のやるべきことをしっかりと行っている人を見て、すばらしいなあと感動する。 【実践意欲と態度】 自分にもよりよく成長したいという心があることに気づき、その心をもって努力していこうとする。	1 教材を読む観点をもつ。 2 「おりがみ名人」を読み、目標をもって頑張ることについて考える。 3 自分の目標と、頑張るための秘訣をまとめる。	○国語科 ・書き順に気をつけて漢字の練習を行わせる。 ○算数科 ・九九を正確に暗唱できるように練習させる。 ○体育 ・縄跳びでいろいろな技に挑戦させる。 ○道徳の授業 ・「おりがみ名人」を読み、目標をもって頑張ることについて考えさせる。 ○朝の会・帰りの会 ・頑張りカードを作成し、子どもが頑張っていることを書かせ、友達からのメッセージをもらえるように朝の会や帰りの会で時間を取る。また、頑張っていることを見直し、うまくいったことなどを報告させる。 ○家庭 ・本時の授業の内容や意図を学級通信などで伝え、子どもの頑張りに対するサポートをお願いしておく。
2月	31. とくべつな たからもの 〔あたたかい ところ〕 【主】B 親切、思いやり 【関連】B 感謝	◎幼い人や友達に温かい心で接することで、相手が困っていることを理解し、親切にすることで、自分も喜びを感じ、自分にできることを進んで行おうとする。 【理解、判断力】 幼い人や友達の様子を温かい心で見ること、相手がどんなことに困っているか、自分はどのように行動したらよいか分かるようになる。 【心情】 幼い人や友達に親切にすることで、人のために役立つ喜びを感じる。 【実践意欲と態度】 親切にすることの喜びを知り、これからも親切な行動をしようという意欲をもつ。	1 温かい心とはどのような心かを想像する。 2 「とくべつな たからもの」を読み、温かい心について話し合う。 3 親切や思いやりについて自分の体験を振り返る。	○道徳の授業 ・「とくべつな たからもの」を読み、温かい心について考えさせる。 ○学級活動 ・温かい心をあげたり、もらったことをカードに書く活動を計画し、できたものを掲示して実践意欲につなげる。 ○家庭 ・これからどんな温かい心を使っていきたいか、家の人に伝えるよう促す。

月	教材名〔主題名〕 内容項目(主・関連)	主題のねらい	展開の概要	関連・連携のための指導計画例
2月	32. はかたにんぎょうの 名人 —こじま よいち— 〔わたしの よい ところ〕 【主】A 個性の伸長 【関連】A 希望と勇気、努力と強い意志	◎自分の特徴に気づき、大切にしようとする。 【理解、判断力】 自分のもっている特徴が分かる。 【心情】 自分の特徴を大切に思う。 【実践意欲と態度】 自分のもっている特徴をもっと見つけようとする。	1 教材を読む観点をもつ。 2 「はかたにんぎょうの 名人」を読み、自分のよさについて考える。 3 自分の特徴を探す。 4 さらに自分の特徴を知るにはどうしたらよいか話し合う。	○道徳の授業 ・「はかたにんぎょうの 名人」を読み、自分のよさについて考えさせる。 ○家庭 ・自分が気づいていなかった自分の特徴を、家の人や身近な人について調べる活動に取り組みさせる。 ○学級活動 ・見つけた自分のよいところを、ランキング形式で互いに発表させる。
重点主題：かがやく いのち				
2月	33. わたしの ものがたり 〔わたしたちの 生きる 力〕 【主】D 生命の尊さ 【関連】C 家族愛、家庭生活の充実	◎自分が成長したり生きて活動したりできるのは、「自分の力」と「周りの人の力」の二つの力があるからだと分かり、その力を発揮してかけがえのない生命を大切にしようとする。 【理解、判断力】 自分の命には生きる力があることに気づき、「生きる力」には、「自分の力」と「周りの人の力」があることが分かる。 【心情】 「生きる力」には、「自分の力」と「周りの人の力」があることが分かり、自分のすばらしい生命に感謝し、大切にしたいと心が動く。 【実践意欲と態度】 自分にも「生きる力」があることを知り、それを大切に生きていこうとする。	1 自分が生まれたときの様子や赤ちゃんのときのことと知っていることを伝え合う。 2 「わたしの ものがたり」を読み、生きる力について考える。 3 授業で学んだことをまとめ、自分の「ぼく・わたしの ものがたり」をつくる活動について話し合う。	○家庭 ・自分の生まれたときや赤ちゃんの頃の様子について、事前に家の人への聞き取りをし、発表できるくらいのメモを取ってくるよう指示しておく。 ○道徳の授業 ・「わたしの ものがたり」を読み、生きる力について考えさせる。 ○生活科 ・P.134～135のみきさんの成長記録を参考にして、「自分の力」と「周りの人の力」の二つの視点を入れた「生きる力」を大切にしながら、自分の成長の記録「ぼく・わたしのものがたり」を、家の人の協力のもとにつくる活動を行わせる。
3月	34. わたしの 力 〔いのちを そだてる〕 【主】D 生命の尊さ 【関連】A 個性の伸長	◎自分が成長したり生きて活動したりできるのは、「つくった力」と「もらった力」があるからだと知り、これからもこの力を発揮して自分の生きる力を高めていこうとする。 【理解、判断力】 生きる力には、「つくった力」と「もらった力」があることが分かる。 【心情】 「つくった力」と「もらった力」が「わたしの力」になることが分かり、かけがえのない生命を大切にしたいと心が動く。 【実践意欲と態度】 自分にも「つくった力」と「もらった力」があることを知り、これからもこの力を発揮して自分の生きる力を高めていこうとする。	1 生まれてから大きくなるまでの力を確認する。 2 「わたしの 力」を読み、自分の「生きる力」について考える。 3 自分の生きる力（「つくった力」「もらった力」）を見つめる。 4 自分の「生きる力」について発表する。	○朝の会・帰りの会 ・生活科や道徳の授業で作成した「ぼく・わたしの ものがたり」を読ませておく。 ○道徳の授業 ・「わたしの 力」を読み、自分の「生きる力」について考えさせる。 ○家庭 ・自分の「生きる力」をどんなことに使いたいのか、家の人に伝えさせる。 ○朝の会・帰りの会 ・家の人と話したことを、毎日数名ずつ発表させる。
3月	35. さくらの木と いっしょに 〔しぜんともにあゆむ〕 【主】D 自然愛護 【関連】C よりよい学校生活、集団生活の充実	◎身近な自然に親しみ、植物に優しい心で接していこうとする。 【理解、判断力】 自然は生きており、人間は、その植物に対して友達のように温かく接して暮らしていることのすばらしさが分かる。 【心情】 人間が植物と友達のように温かく接している様子に触れて、いいなあ、すばらしいなあと心が動く。 【実践意欲と態度】 自分の身近な植物も生きてることが分かり、その植物に温かい心で接していこうとする。	1 自分の身の回りの好きな自然を挙げて、そのわけを考える。 2 「さくらの木と いっしょに」を読み、自然との関わりについて考える。 3 自分の好きな花や木と、その理由を紹介する。 4 学校にある植物について話し合う。	○生活科 ・植物を育てたり、生き物の世話をしたりする活動を行い、感じたことを観察カードなどにまとめさせる。 ○道徳の授業 ・「さくらの木と いっしょに」を読み、自然との関わりについて考えさせる。 ○学級活動 ・実際に学校内の樹木を見に行き、その様子や感想を発表させる。 ・家族の自然観を調査して、お父さんやお母さんはどんな木が好きか、なぜ好きかなど、調べたことを発表させる。
付録	36. ねこが わらった 〔すなおな ところで〕 【主】A 正直、誠実 【関連】A 善悪の判断、自律、自由と責任	◎うそをついたりごまかしたりすると、心が落ち着かなくなることを知り、素直にのびのびと生活しようとする。 【理解、判断力】 うそをついたりごまかしたりすると心が落ち着かなくなるのは、正直に生きたい気持ちがあるからだと分かる。 【心情】 うそをついたりごまかしたりしないで、正直に生きるよさに心が動く。 【実践意欲と態度】 うそをついたりごまかしたりしないで、素直にのびのびと生活しようとする。	1 ごまかそうとしたときにどんな気持ちになるか話し合う。 2 「ねこが わらった」を読み、正直に生きることのよさについて考える。 3 明るくのびのびと生活するために大切なことをまとめる。	○道徳の授業 ・「ねこが わらった」を読み、正直に生きることのよさについて考えさせる。 ○日常生活 ・自分がうそやごまかしをしないために心がけたいことを考え、日常生活の中で実践していくよう促す。 ○朝の会・帰りの会 ・実際にできたことやそのときの気持ちなどを報告させる。
付録	37. 小さな ゆきうさぎ 〔しんせつに すると いい きもち〕 【主】B 親切、思いやり 【関連】B 友情、信頼	◎幼い人の気持ちを考えて温かい心で接し、親切にすることで、自分も喜びを感じ、自分にできることを進んで行おうとする。 【理解、判断力】 幼い人に温かい心で接することで、相手がどんなことをして欲しいと思っているかが分かるようになる。 【心情】 幼い人に親切にしている人を見て、自分も気持ちのよさを感じる。 【実践意欲と態度】 親切にすることで互いの間に生まれる喜びを知り、これからも親切な行動をしたいと思う。	1 親切について考える。 2 「小さな ゆきうさぎ」を読み、親切について考える。 3 本時で学んだ親切について考える。	○道徳の授業 ・「小さな ゆきうさぎ」を読み、親切について考えさせる。 ○日常生活 ・相手の気持ちを考えて親切にすることを意識づける。 ・親切にして喜んでもらえたことを、ノートやワークシートに記録させる。 ○学級活動 ・朝のスピーチなどで、記録したことを報告させる。
付録	38. おとす 人、ひろう 人 〔だれもが きもちよく〕 【主】C 規則の尊重 【関連】A 節度、節制	◎みんなで使う物を大切に、気持ちよく過ごせる社会を築こうとする。 【理解、判断力】 みんなで使う物を大切にすることは、地域社会のために大切なことだと分かる。 【心情】 地域社会の人の気持ちを考えて、みんなで使う物を大切にすると、自分もうれしい気持ちになる。 【実践意欲と態度】 身の回りがあるみんなで使う物をきまりに従って使い、大切にしようとする。	1 みんなで使う場所にごみが落ちていたらどうするか考える。 2 「おとす 人、ひろう 人」を読み、みんなで使う物を大切にすることについて考える。 3 みんなで使う物に対して気をつけたいことを考える。	○生活科 ・通学区域の絵地図を作成させ、絵地図の中にあるみんなで使う物に関心をもたせる。 ○道徳の授業 ・「おとす 人、ひろう 人」を読み、みんなで使う物を大切にすることについて考えさせる。 ○学級活動 ・地域の中のみんなで使う物や場所を調べて、どのように使っているか話し合わせる。 ○日常生活・地域 ・校舎内や校庭、地域にあるみんなで使う物や場所を大切に使うよう促す。
付録	39. 一まいの シャしん 〔生きる 力〕 【主】D 生命の尊さ 【関連】C 家族愛、家庭生活の充実	◎人間は元気に生きようとする力をもっていることや、多くの人たちに支えられながら生きてることが分かり、生命を大切にしようとする。 【理解、判断力】 人間には、けがや病気を治して元気に生きようとする力があり、それは自分にも備わっていることが分かる。 【心情】 自分は、家族や周りの人たちに支えられて大きくなっていることを知り、ありがたいなあと心が動く。 【実践意欲と態度】 他者に支えられながら生きていく自分を自覚し、生命を大切にしようとする。	1 元気であることについて話し合う。 2 「一まいの シャしん」を読み、元気でいられるのはなぜか考える。 3 保護者からわが子へ宛てた手紙を読む。	○家庭 ・保護者に学級通信などで授業の意図を伝え、子どもが生まれたときのことや、病気になったときのこと、子どもへの望みなどを手紙に書いてもらう。 ○道徳の授業 ・「一まいの シャしん」を読み、元気でいられるのはなぜか考えさせる。 ○家庭 ・どんなときに「生きる力」を感じたか、家の人に伝えたり、「生きる力」を大切に頑張りたいことをカードに書いたりするよう促す。 ・保護者に学級通信などで授業の意図を伝え、子どもたちが書いたカードに励ましの言葉を書いてもらうように伝えておく。

月	教材名〔主題名〕 内容項目(主・関連)	主題のねらい	展開の概要	関連・連携のための指導計画例
付録	<p>40. しあわせの王子 〔うつくしい ころ〕 【主】 D 感動, 畏敬の念 【関連】 B 親切, 思いやり</p>	<p>◎人の心の美しさに感動し、自分もそのような心を育みたいと思う。 【理解, 判断力】 困っている人がいたら助けずにはいられない心をもった人は、心の美しい人であり、人が幸せになると自分も幸せを感じる事が分かる。 【心情】 人が幸せになると自分も幸せを感じる心の美しさに、感動する。 【実践意欲と態度】 自分も、そのような美しい心を育みたいと思う。</p>	<p>1 心の美しい人について話し合う。 2 「しあわせの王子」を読み、心の美しさについて考える。 3 美しい心についてまとめる。</p>	<p>○国語科 ・心の優しい登場人物が出てくる話などを紹介し、人の心の美しさについての意識をもたせる。 ○道徳の授業 ・「しあわせの王子」を読み、心の美しさについて考えさせる。 ○学級活動 ・「人が喜ぶことが自分の喜びになる」という心をもった人や、美しい心の話を探る活動を行い、発表させる。</p>